

# 量子情報へ向けた シリコンテクノロジーからの挑戦

量子性が拓く新しい科学技術への関心が、世界的に高まってきています。シリコンを中心とした半導体技術は、従来の古典技術と将来の量子情報技術を繋ぎ、この2つの技術世界を融合して、新しい科学技術体系を確立するために重要な役割を果たすと考えられています。本シンポジウムは、現在の半導体技術から将来の量子情報技術までをシリコンを中心に多角的に議論することを目的としています。

## 招待講演者

(講演タイトルは仮題)

山岡 雅直(日立) CMOSを用いた擬量子アニーリング

藤原 聡(NTT) シリコン高速単電子転送・検出デバイス

松田 信幸(NTT) シリコンフォトニクス

小寺 哲夫(東工大) 単一スピン量子情報

川上 恵里加(Delft工科大) Si/SiGe量子ドット中の電子スピン量子操作

大野 圭司(理研) シリコンCMOS技術と整合性を持つスピン量子ビット

一般講演も受け付けております。シリコンに限らずGaAs等まで含めてシンポジウムの趣旨に合うテーマを歓迎致します。

新領域「量子情報研究」グループ主催